

祝辞

前年度代表

群馬県高崎市

篠原

博道



群馬県の北毛支部に所属し、島村支部長のバイタリティ溢れるご指導の下、活動の輪に加えていただいております。未だ活動歴も短い若輩者にもかかわらず、この令和五年度日本善行会秋季善行表彰式にあたり、前年度受賞者を代表して、皆様

にお祝いの言葉を申し上げるといふ大役を仰せつかりました。全国の先輩諸氏を差し置いて誠に僣越とは存じますが、この良き日に免じてご容赦を願いたいと存じます。まず、この度の表彰式はコロナ禍を乗り越えての四年ぶりの開催ということで、勝野会長はじめ関係者の皆様も大変なお喜びと拝察いたしますとともにここに至るまでの大変なご労苦に対しまして厚く御礼を申し上げます。

さて、過日、全国的に自治会の存続が危機に瀕しているとの報道がありました。かねてから地域社会の劣化と

いう問題は、主に治安悪化の要因として挙げられることが多かったようですが、いよいよ社会の根本に関わる重要問題として、真剣に考えなければならぬ時期が来ていると思われまふ。私たちの生活は短期間に急激に変わりました。高度化した通信技術により、遠くの人ともリアルタイムであたかも隣にいるかのよう

私はこのような状況であるからこそ、地域に根ざして明るい社会作りを目指す我々善行会の存在意義は益々高まっていくと確信しています。我々一人ひとりの力は小さいものですが、これを地道に続け、紡ぎ合わせることで、より良い地域社会作り、ひいては国造りへ向けた大きな力になると確信しています。我々には力強い仲間が全国に大勢おります。ともに頑張ってください。ありがとうございます。

答辞

受賞者代表

栃木県宇都宮市

玉木

孝司



本日、令和五年度秋季善行表彰式が挙行され、荣誉ある善行章をいただきましたことは、身に余る光栄と心から感謝申し上げます。また、勝野会長を始め、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様方か

らご祝辞や温かい励ましのお言葉をいただき、重ねて感謝申し上げます。本日、共に受賞いたしました個人、団体を代表しまして誠に僣越ではございますが一言お礼を申し上げます。

私は、栃木県宇都宮市にて、ボランティアグループ「まなびば」の事務局長として、宇都宮ボランティア協会や善行会会員として、安心・安全なまちづくり活動を通じて、交通安全のストラップの配布、地域の中学生・高齢者や障がい者の方との清掃活動、学習会や福祉祭りなどで地域の絆づく

りに頑張っています。そして、東日本大震災や令和元年台風で被災された地域での復興支援活動や災害を通しての絆づくり、防災意識の向上や災害に備えて、命の尊さや大切さを若い世代へ思いを紡ぐ活動も行っています。また、BBS会員として、青少年の健全育成のための活動を保護観察所や保護司会や更生保護女性会の方と協力して青少年の立ち直り支援や薬物乱用、非行防止などの啓蒙活動、社会を明るくする運動を始め、再犯防止運動として、宇都宮駅周

辺の施設を巡回し見守りや声かけ運動を行っています。なお、コロナ禍に入ってから、オンラインを活用しての不登校児童への学習やコミュニケーション活動の支援などを行っています。善行章をいただいたことを励みとし、これからの活動を頑張りたいと思っています。結びに、本日は表彰式に出席された皆様を始め、ご臨席賜りました皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

ふる里白慢

小田原支部

南鴨宮おはやし保存会の活動

小田原支部 堀口 康夫

当地域の小田原囃子は、大正時代から代々受け継がれてきています。この小田原囃子は、武蔵国葛

飾地方発祥の「葛西囃子」系統で、江戸時代、小田原は大久保氏の城下町であったことから、江戸文化との交流が盛んで小田原に伝わり「小田原囃子」となる祭囃子が生まれて現在まで二百数十年もの長い間伝承されています。

現在、演奏されている小田原囃子は六曲からの編成になっています。「屋台ばやし」「聖田」「神田丸」「鎌倉」「馬鹿ばやし」「四丁目」であり約二十五分の演奏時間を要します。演奏形態は、大太鼓一人、締太鼓五人、鉦一人、笛一人の八人です。主な行事は一月道祖神車曳、どんど焼き、四月神明神社宵宮、大祭、八月南鴨宮夏まつり、介護施設の納涼祭、十月小田原ちようちんまつり、下水道ふれあいまつり、などです。



勢十八人です。平成十五年以前は、一月の道祖神山車曳の時にだけのお囃子行事でしたが、「小田原囃子六曲」を覚えて次の世代に伝えていこうという話が持ち上がりました。この頃、文化庁の外郭団体が行う「伝統文化子ども教室事業」がある事を知り、「子ども教室」を有志と立ち上げて厳格な審査を得て運営経費を数年間助成していただいた事が、その後のお囃子行事の発展に大いに寄与する事になりました。

練習会場は、行事が始まる二ヶ月前頃から公民館にて練習が始まり参加者は小学生がメイン、高学年生、指導者も含め総

イベント行事の中でも特に、介護施設(二カ所)の納涼祭には入所者の方々からお囃子を懐かしがり「元気をいただいております」との声には地域の貢献していることを肌で感じとります。今後も先人達によって伝承されてきた小田原囃子を後世に伝え残すため、後継者の育成と普及活動に取り組んでいきたいと思っております。

祝電を

寄せられた方々 (順不同敬称略)

- 宮城県知事 村井 嘉浩
茨城県知事 大井川和彦
静岡県知事 川勝 平太
滋賀県知事 三日月大造
大田区長 鈴木 晶雅
荒川区長 西川 太郎
足立区長 近藤やよい
三鷹市長 河村 孝
調布市長 長友 貴樹
羽村市長 橋本 弘山
藤沢市長 鈴木 恒夫
各務原市長 浅野 健司
一般社団法人日本善行会 理事 山崎 久夫



一般社団法人日本善行会 新宿支部 支部長 前田 哲也
新宿サッカー連盟主催、善行会杯協賛
令和6年度・第23回善行会杯少年サッカー大会を開催します。
〒162-0066 新宿区市ヶ谷台町18-3
☎03-3351-7625

株式会社むさし商事 会長 高田 修
日本善行会 副会長
〒173-0016 板橋区中板橋7-2
☎03-5375-5555

一般社団法人日本善行会 福島県支部 支部長 瀧田 勉
〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山1-74
☎024-938-3826

